

3D T-CHECKの主な仕様

システム仕様	対応CADデータ	STL形式
	対応解析モデル	NASTRAN BLK形式の4面体(テトラ要素)モデル
	主な解析結果	肉厚分布表示(指定肉厚以上/以下の部位の選択表示) 金型サイズ・金型温度・樹脂温度・サイクルタイムを考慮した 離型時における樹脂温度分布
動作環境	CPU	Pentium 4 2.8GHz以上を推奨
	メモリ	実装 2GB以上を推奨
	OS	Microsoft Windows XP SP2以降
	ディスク容量	インストールに200MB以上の空き容量
	ディスプレイ	1280×1024ドット以上で65536色以上表示可能なディスプレイ、 およびダブルバッファに対応したOpenGLボード
	その他	CD-ROMドライブ(インストール用)
	ライセンス管理	USB形式のハードロックライセンス

3D T-CHECK

Toray Engineering Timon Series



※詳細についてはお問い合わせください。 ※記載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。 ※製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

TORAY

東レエンジニアリング株式会社

エンジニアリング事業本部 CAEソフト事業部

本 社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル

TEL.03-3241-1543 FAX.03-3241-1545

名古屋営業所

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山1-2-4 アイディエリア711

TEL.052-331-5951 FAX.052-331-5952

滋賀事業所

〒520-0842 滋賀県大津市園山1-1-1

e-mail info@3dtimon.com

<http://www.3dtimon.com>



TORAY

東レエンジニアリング株式会社

ワンクリックで見えてくる3次元形状シミュレーションツール

3D T-CHECK

厚すぎず薄すぎず、適切な肉厚…

3次元CADの活用を中心とするデジタルエンジニアリングは、開発期間の短縮や新製品開発コスト削減において大きな成果をあげつつあります。

その一方で3次元CADを用いた設計においては、不必要な厚肉部位や、成形不可能な薄肉部位の存在に気が付かないまま出図するといった大きな危険性を秘めています。また、さらなるサイクルタイムの短縮・製造コストの削減を目指すには、製品設計段階において、製品の肉厚分布や成形時における熱溜まり部位の分布を適切にコントロールしておくことが重要です。

しかし、通常3次元CADのオプション機能で提供される肉厚算出機能では、形状のみに着目しているが為に、肉厚チェックは出来てもサイクルタイム短縮の阻害要因である熱溜まりを検出することが難しいという限界がありました。

3D T-CHECKは、3D TIMONで培った金型冷却解析を用いることで、製品形状を考慮した熱溜まり部位の検出を可能にしました。

高品質な3次元設計の実現をお手伝いするシミュレーションツール、それが3D T-CHECKです。

従来の製品化プロセス

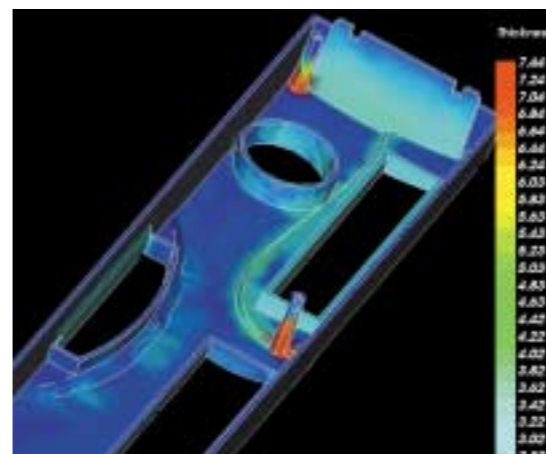


3D T-CHECK導入後の製品化プロセス

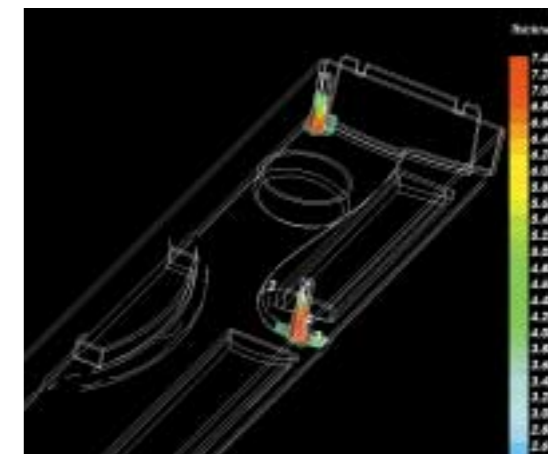


3クリックでCADデータの品質をチェック

- ショートショットの原因となる薄肉部位の検出
- 肉厚分布の確認により収縮バランスの予測



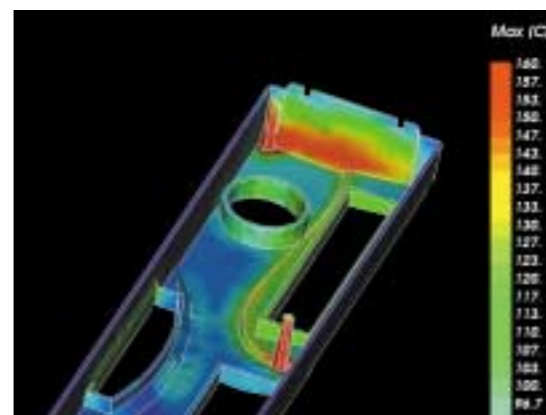
成形品における肉厚分布表示



成形品における肉厚分布表示
肉厚3mm以上の部位を島表示

ワンボタンで熱溜まり部位の検出

- 成形サイクル短縮を妨げる熱溜まり部位の検出
- 島表示によりヒケの可能性を予測



離型時における温度分布表示



離型時における温度分布表示
温度120℃以上の部位を島表示